

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆6月電気代、最大91円値上げ エネルギー高騰の価格転嫁始まる

・中東緊迫によるエネルギー調達網の混乱が6月の電気代に転嫁される。大手電力10社が6月使用分(7月請求分)の家庭向け電気代を発表。東京電力など9社が値上げ。値上げ幅は最大で前月比91円(1%)となる。9月以降は液化天然ガス(LNG)の高騰が反映され、一段の値上げとなる見込み。国内の電力はLNG火力の比率が高いため。

◆改正物流効率化法、企業の7割「内容知らない」 帝国データ調べ

・帝国データバンクは4月1日に全面施行した改正物流効率化法について、7割の企業が「内容を知らない」と回答したと発表。年間総重量9万トン以上の荷物を扱う「特定荷主」に対し物流統括管理者(CLO)の設置や中長期計画の策定を義務づけ。一方で「現場の実態とかけ離れており、机上の空論に感じる」(運輸・倉庫)と厳しい意見もみられた。

◆牛井や焼き肉に値上げ圧力 米国産牛バラ肉4割高、干ばつで飼育減

・牛井などに使う米国産牛バラ肉の卸価格が一段と上昇しほぼ1年8カ月ぶりの高値。干ばつなどの影響で米国の肉牛生産が減り、品不足に備えて外食企業が調達を急いだ。高値が続けば外食チェーンへの値上げ圧力が強まる。米国産牛バラ肉の国内卸値は現在、1キログラムあたり1450円前後。直近の安値を付けた2025年夏から4割ほど値上がり。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン工場のPFAS検出、7月に住民側と初回調停 申し立て1100人に

・ダイキン工業の淀川製作所周辺で、発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)の一種「PFOA」が検出されたことを受け、地元住民ら約300人が公害調停を府公害審査会に申し立てた。2025年12月の第1次申請に続く申し立てで、申立人は計約1100人となった。住民側の弁護団によると、7月1日に1回目の調停が開かれる予定。

◆ナフサ輸入が5割減、中東以外からの代替調達5割増 4月の貿易統計

・財務省が発表した4月の貿易統計(確速値)によると、ナフサ(粗製ガソリン)の輸入量は前年同月比で47%減の114万キロリットル。中東以外からの輸入量は5割増えた。中東からの輸入量は79%減の34万キロリットルだった。3月は37%減っていた。日本国内での原油の精製過程で得られるとともに、輸入もしている。

◆4月の国内建設受注額29%減 前年の大阪IR工事受注の反動

・日本建設業連合会が発表した4月の国内建設受注額は前年同月比29%減の1兆4457億円。前年同月に大阪・関西万博会場跡地の隣接地で、統合型リゾート(IR)の関連工事の受注があり、その反動が出た。マイナスは2カ月連続。国内建設受注額は加盟92社のデータを足し合わせて算出した。民間からの受注額は30%減の1兆2525億円だった。

《 注目商品 》

■トーソー、調光スルーカーテン

・ドレープとレースを一体化した生地をU字状に取り付けたカーテン。やわらかな質感と美しいカーブを保ちながら、採光から視線遮蔽までコントロールできる調光機能を兼ね備えた。「ウォークスルー機能」により、閉じたままどこからでも出入りが可能。



■アイカ、マグネットが使える高意匠不燃化粧板

・マグネットが使える高意匠不燃化粧板「マグフィーノ」を発売。意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット対応機能を追加。壁面に掲示用マグネット、フックや小棚などのマグネット収納グッズを使うことができる。



■YKK AP、「リウッドデッキ」の施工性向上

・再生木デッキ「リウッドデッキ 200 EG」「リウッドデッキ 200」をリニューアルし、「リウッドデッキS EG」「リウッドデッキS」として発売。高い耐久性と安定した使い心地はそのままに、施工性と仕上がりの美しさを向上。剛性を上げながら熱反りに配慮した仕様に変更。

